

政府内政懸案諸問題の 革新的改善に乘出す

舉國一致内閣の實發揮

(東京二十二日) 政府は支那事變の徹底的解決を企てんとする大本營設置に伴つて内政上の懸案諸問題に對しての革新的改善に乗り出すこととなつた。即ち大本營が純然たる統帥機關であることは勿論であるが近代戦争の意義に鑑み用兵作戦上の高度なる「元化」は當然之と即應すべき行政各部門に於ける施政の統合強化されたる發動を必要とするので近衛首相を中心とした風見書記官長、龍企畫院總裁、船田法制局長官等の間に内閣制度そのもの、改革が考慮されてゐる併し乍ら現實面の問題としては諸般の事情に制せられ内閣設置に對して時局解消に万端漏さきを期することとなつた。今政府の執り上げんとする内政問題を一瞥すると保健社會省、官吏制度改正、總動員法、電力管理法、國民健康保險法、農林省所管の農村關保社會立法、商工省所管の時局關係經濟立法等がある。要するに事變前に學國一致内閣として成立した近衛内閣は事變後内閣參議の設置により學國一致體制の再編成強化を得、今や大本營設置に伴つてかかる國體の協力され力を集約的に發動すべく時局に當面してゐる譯であつて以上の内政諸問題は寧ろ政府そのもの、試金石だぞ觀られるのである。

(東京二十二日) 賛成の意向であつて三十名解を求める關保會議なくこれを総上昇開會は午後二時半開會の委員中或ひは直接通話大臣承認、更に過程より右調査會に成ひは書面を以て務次官の意向を尊重して次期議會には從來の自主的統制のみでは永井過相より臨時電力調査會に出席した。議會を五回、小委員會を八回、參與官等を通じて賛意を表明提出すべき原案を作成し近く届けられたが大部は小委員會告あつて同三時散會した。

日本軍少壯將校は 餘りに勇敢過ぎる 不必要的死傷を増すだけ

U P の 反 日 的 報 道

石炭業法制定 來議會へ提出

吉野商相立案を急ぐ

やる處までやれ
末次大將首相に進言

状授與

松井司令官感

本邦の重慶基

第三に日本軍の機械化部隊は

海軍に就いては製鐵事業法

者の自動的統制に任せてゐる

有機である併し乍ら石炭增

産5ヶ年計画を進行し之を合

併行して國家統制が行はれ

せて石炭の生産配給及び商品

部事務をめぐる外交事情につ

大將に次いで近衛首相と會見

開會開設會直後四時半開

定例懇親會は二十二日午後三時

九國會議は二十二日再開す

こととなると思はれる

と述べ種々意見の交換を行ひ

司四時十五分、散會した

と思はれる

日本軍は戰争が長期戦と

必要となる損害が多大の面も

うと觀てゐる

第二の缺陷は盲目的命令に

服従す「傾向」がある

第三に日本軍の機械化部隊は

海軍に就いては製鐵事業法

の二十パーセント方とも餘りに

それが勝つか云ふ事を判断す

上日本軍が怖い

されば日本軍はその死傷十万人

を尊重するが此の點として不官の一般的觀測は「日本軍は

堅苦しい」が大きいと北支

國軍も「北支の作戦は外

でない事が必ずしも常勝の鍵である

と思はれる、北支の作戦は外

でない事が必ずしも常勝の鍵である

と思はれる

英國の半分位の能率しか

か制限され業者の自主的統制

が平行して國家統制が行はれ

ない併しの代りに日本軍

強敵・大學軍を破り、我コロニヤ軍に凱歌揚る

第一回對大學陸上競技大會

78 - 68

數日來の雨は名残りなく晴れて
第一回コロニヤ

對大學陸上競技大會は去る

二十日午後二時より若草萌ゆる

時より若草萌ゆる

ノ競技場に於て花々しく舉行

二、若松

三、高村

四、池田

五、五百米決勝

六、五百米走

七、五百米走

八、五百米走

九、五百米走

十、五百米走

十一、五百米走

十二、五百米走

十三、五百米走

十四、五百米走

十五、五百米走

十六、五百米走

十七、五百米走

十八、五百米走

十九、五百米走

二十、五百米走

二十一、五百米走

二十二、五百米走

二十三、五百米走

二十四、五百米走

二十五、五百米走

二十六、五百米走

二十七、五百米走

二十八、五百米走

二十九、五百米走

三十、五百米走

三十一、五百米走

三十二、五百米走

三十三、五百米走

三十四、五百米走

三十五、五百米走

三十六、五百米走

三十七、五百米走

三十八、五百米走

三十九、五百米走

四十、五百米走

四十一、五百米走

四十二、五百米走

四十三、五百米走

四十四、五百米走

四十五、五百米走

四十六、五百米走

四十七、五百米走

四十八、五百米走

四十九、五百米走

五十、五百米走

五十一、五百米走

五十二、五百米走

五十三、五百米走

五十四、五百米走

五十五、五百米走

五十六、五百米走

五十七、五百米走

五十八、五百米走

五十九、五百米走

六十、五百米走

六十一、五百米走

六十二、五百米走

六十三、五百米走

六十四、五百米走

六十五、五百米走

六十六、五百米走

六十七、五百米走

六十八、五百米走

六十九、五百米走

七十、五百米走

七十一、五百米走

七十二、五百米走

七十三、五百米走

七十四、五百米走

七十五、五百米走

七十六、五百米走

七十七、五百米走

七十八、五百米走

七十九、五百米走

八十、五百米走

八十一、五百米走

八十二、五百米走

八十三、五百米走

八十四、五百米走

八十五、五百米走

八十六、五百米走

八十七、五百米走

八十八、五百米走

八十九、五百米走

九十、五百米走

九十一、五百米走

九十二、五百米走

九十三、五百米走

九十四、五百米走

九十五、五百米走

九十六、五百米走

九十七、五百米走

九十八、五百米走

九十九、五百米走

一百、五百米走

一百一、五百米走

一百二、五百米走

一百三、五百米走

一百四、五百米走

一百五、五百米走

一百六、五百米走

一百七、五百米走

一百八、五百米走

一百九、五百米走

一百十、五百米走

一百十一、五百米走

一百十二、五百米走

一百十三、五百米走

一百十四、五百米走

一百十五、五百米走

一百十六、五百米走

一百十七、五百米走

一百十八、五百米走

一百十九、五百米走

一百二十、五百米走

一百二十一、五百米走

一百二十二、五百米走

一百二十三、五百米走

一百二十四、五百米走

一百二十五、五百米走

一百二十六、五百米走

一百二十七、五百米走

一百二十八、五百米走

一百二十九、五百米走

一百三十、五百米走

一百三十一、五百米走

一百三十二、五百米走

一百三十三、五百米走

一百三十四、五百米走

一百三十五、五百米走

一百三十六、五百米走

一百三十七、五百米走

一百三十八、五百米走

一百三十九、五百米走

一百四十、五百米走

一百四十一、五百米走

一百四十二、五百米走

一百四十三、五百米走

一百四十四、五百米走

一百四十五、五百米走

一百四十六、五百米走

一百四十七、五百米走

一百四十八、五百米走

一百四十九、五百米走

一百五十、五百米走

一百五十一、五百米走

一百五十二、五百米走

一百五十三、五百米走

一百五十四、五百米走

一百五十五、五百米走

一百五十六、五百米走

一百五十七、五百米走

一百五十八、五百米走

一百五十九、五百米走

一百六十、五百米走

一百六十一、五百米走

一百六十二、五百米走

一百六十三、五百米走

一百六十四、五百米走

一百六十五、五百米走

一百六十六、五百米走

一百六十七、五百米走

一百六十八、五百米走

一百六十九、五百米走

一百七十、五百米走

一百七十一、五百米走

一百七十二、五百米走

一百七十三、五百米走

一百七十四、五百米走

一百七十五、五百米走

一百七十六、五百米走

Notícias de S. Paulo
(Primerio Diario Nipponico
Publicado no Brasil)

DARIO P. ALMEIDA
DIRECTOR
ROCKO KOWYAMA
PROPRIETARIO

Caixa Postal, 2765
Telephone 2-5855
Rua Assembleia No. 16
SÃO PAULO - BRASIL

ASSIGNATURAS
Anno - - - - 30\$000
Semestre - - - - 15\$000
Número do dia - - \$500
Exterior, anno - - 60\$000

誓
登校の子等の白帽子
馬を
つづれども叱れども尚すね
あけ學校、通兒をよけ見送る
葉松雅雄
貢つて來しゴム人形を子に與
ふ先にぞ妻は鳴らしてみけり
さよならが云へず二人入街に出
た赤い灯のつく淋しい夜の街
な反響



聖報歌壇

西 村孝

そよくと若葉の風に匂ひ來

て書簡

みどり葉に明るく雨の夕晴れ

外人に交つて多くの日本人が

それくの悲しみをかみしめ

て暮まいりしてゐる

えかねて庭に出で、鉢蘭の花

木下綠絨

そよくと若葉の風に匂ひ來

て書簡

みどり葉に明るく雨の夕晴れ

外人に交つて多くの日本人が

それくの悲しみをかみしめ

て暮まいりしてゐる

えかねて庭に出で、鉢蘭の花